調停案

一、社會的施設ハ妥協シテ實施スル事
二、本日迄ノ爭議ニ對シテハ犧牲者ヲ出サヌ事
三、休業中ノ日給ハ何等カノ方法ニヨッテ支給スル事（廿八日ヨリ五日迄）
四、全職工ノ藥價ハ無料ニスル事

白井、中原兩取締役ハ「第一ハ承認スル第三、四ハ考慮ノ上回答スル第二ハ會社側ヨリ見テ不良ト認ムル職工ハ解雇スル事ニナッテ居ルカラ斷然容レルコトハ出來ナイ」ト回答シタノデ調停促進團ノ連中ハ更ニ來迎寺附近ノ爭議團本部ニ訪ヒ和泉紡績ノ職工林、谷藤、吉田ノ三名及ビ應援側ノ山內鐵吉（野武士組）貞宗閭作（泉州聯合會）私部英治（大阪機械勞働組合）柴田[illegible]之亮（大阪合同組合）ト會見シ會社ヘ曩ニ示シタ調停案ヲ提示シテ協議シタ職工側デハ賃銀ノ二割値上ゲ及ビ夜業手當ノ五分增額ノ二條件ヲ固執シテ讓ラナイ爲メ調停促進團ハソレデハ仕方ガナイト云ッテ該交涉ヨリ手ヲヒイ